

平成 2 5 年度

事 業 概 要



鳥取県食肉衛生検査所

〒689-3203

とっとりけんさいはくぐんだいせんちょうこたけ
鳥取県西伯郡大山町小竹1291-7

TEL:0859-54-2531

FAX:0859-54-4814

E-mail:shokunikueisei@pref.tottori.jp

目 次

I 総説

1	沿 革	1
2	組織及び職員の状況	2
3	職員配置	2
4	鳥取県食肉衛生検査所条例	3
5	と畜検査業務フローシート	4
6	施設の概要	5
7	主な検査機械器具	6
8	主要行事・職員の研修	7
9	と畜場概要	8

II 事業の概要

1	食肉衛生検査状況	9
(1)	と畜検査頭数	9
(2)	検査結果に基づく措置	9
(3)	病畜検査	9
(4)	TSE (BSE) スクリーニング検査	9
(5)	と畜検査の詳細	10
ア	月別と畜検査頭数	10
イ	月別病畜検査頭数	10
ウ	産地別搬入頭数	11
エ	と畜場内と殺頭数及び獣畜のと殺解体禁止又は廃棄したものの原因	12
オ	病類別一部廃棄頭数	13
カ	病畜疾病別検査頭数	14
(6)	試験室内検査実施状況	15
ア	行政検査(精密検査)	15
イ	受託検査	15
ウ	調査研究	15
エ	TSEスクリーニング検査状況	16
2	と畜場等の衛生管理指導	16
(1)	枝肉等の衛生度把握	16
(2)	食品衛生月間	16
(3)	従事者の衛生教育	16
(4)	食品営業許可施設の監視指導	16
3	と畜検査データフィードバック事業	17
(1)	生産者へのフィードバック	17
(2)	臨床獣医師へのフィードバック	17
4	検体採取等の協力	18
5	調査研究	18
6	食肉衛生検査所PR事業	18

III 研究発表の記録

1	過去10年間の学会・研修会発表記録	19～21
2	平成25年度発表論文	22～26

IV 参考資料

1	年度別と畜検査頭数(鳥取県)	27
2	畜種別と畜検査頭数(鳥取県食肉センターと畜場)	27
3	と畜検査頭数の推移	28
4	全部廃棄原因別状況	29
5	検査結果に基づく処分頭数	30
6	鳥取県食肉衛生検査所案内図	30

I 総説

1 沿 革

昭和58年 3月18日	鳥取県衛生環境部内に食肉衛生検査所開設準備委員会設置
昭和58年 6月 2日	(株)鳥取県食肉センターと鳥取県が土地売買契約締結 取得用地 鳥取県西伯郡名和町大字小竹字笹尾1291番地1のうち、1,483.53㎡
昭和58年 7月	食肉衛生検査所建設工事着工
昭和58年12月 2日	(株)鳥取県食肉センター「と畜場」許可(鳥取県指令受衛第25第1号)
昭和58年12月 5日	(株)鳥取県食肉センター試験操業開始 米子保健所管轄のため、と畜検査は米子保健所検査員を主体に、県内と畜検査員の応援を求めと畜検査開始
昭和58年12月13日	鳥取県行政組織規則の一部改正公布 59年1月1日施行 食肉衛生検査所職員定数8名 59年1月1日付人事異動発令 (技術吏員7名、事務吏員1名) 非常勤職員(事務)1名
昭和58年12月22日	食肉衛生検査所庁舎完成 鉄筋コンクリート平屋建633.45㎡
昭和59年 2月 1日	食肉衛生検査所竣工式
昭和60年 3月31日	(株)日清ハム付属と畜場廃止
昭和60年 5月 1日	米子保健所と畜検査員2名に食肉衛生検査所兼務発令
昭和60年 8月31日	米子市営と畜場廃止
昭和61年 4月 1日	食肉衛生検査所2名増員(本務発令)により職員定数10名(技術吏員9名)
昭和61年 5月 1日	食肉衛生検査所1名増員により職員定数11名(技術吏員10名)
平成 3年11月30日	中部食肉センターと畜場廃止
平成 8年 3月31日	鳥取市営と畜場廃止
平成10年 4月 1日	食肉衛生検査所1名減員により職員定数10名(技術吏員9名) (財)鳥取県食肉衛生協会事務所が食肉衛生検査所庁舎内に移転
平成12年 4月 1日	鳥取県食肉衛生検査所条例(鳥取県条例第16号)制定、同日施行
平成13年10月15日	BSE検査対応で食肉衛生検査所2名増員(技術吏員)
平成13年10月18日	BSE検査開始(平成13年9月10日、千葉県で国内最初のBSE確認される)
平成14年 7月 1日	食肉衛生検査所1名増員(技術吏員)
平成16年 1月31日	食肉衛生検査所20周年記念祝賀会
平成20年 4月 1日	食肉衛生検査所1名減員(職員定数13)事務次長を廃止し技術次長を配置
平成23年 8月11日	と畜された牛枝肉の放射性セシウム全頭検査を開始
平成24年 7月31日	と畜された牛枝肉の放射性セシウム全頭検査を終了
平成25年 4月 1日	食肉衛生検査所1名増員(技術吏員、職員定数14)
平成25年 7月 1日	BSE検査の対象牛を全頭から月齢48ヶ月超に変更

2 組織及び職員の状況

(1) 組織 (平成26.4.1現在)

生活環境部 — 暮らしの安心局 — 暮らしの安心推進課 — 食肉衛生検査所 — ┌ 管理検査担当
└ 試験検査担当

(2) 職員の状況 (平成26.4.1現在)

区分	所長	次長	課長補佐	係長	衛生技師	非常勤職員等	計
技術吏員	1	1	2	2	7	2	15
事務吏員						1	1
計	1	1	2	2	7	3	16

3 職員配置

(平成26.4.1現在)

職名		所掌事務
所長		総括
次長		事務の総括
管理検査担当	課長補佐 (1名)	管理検査担当総括、と畜検査、BSE検査
	係長 (1名)	と畜検査(食品衛生監視員)、BSE検査
	衛生技師 (3名)	と畜検査(食品衛生監視員)、BSE検査
試験検査担当	課長補佐 (1名)	試験検査担当総括、と畜検査、BSE検査
	係長 (1名)	と畜検査、BSE検査
	衛生技師 (4名)	と畜検査、BSE検査
非常勤職員 (と畜検査員2名)		と畜検査
非常勤職員(1名)		一般事務

4 鳥取県食肉衛生検査所条例

制定：平成12年3月28日(鳥取県条例第16号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第156条第1項の規定に基づき、と畜検査及びと畜場の衛生並びにと畜場における食品衛生に関する事務を所掌させるため、鳥取県食肉衛生検査所(以下「検査所」という。)を西伯郡大山町に設置する。(平16条例68・一部改正)

(所管区域)

第2条 検査所の所管区域は、鳥取県の区域とする。

(手数料の徴収)

第3条 検査所において行う業務については、別表に定めるところにより、手数料を徴収する。

(手数料の減免)

第4条 知事は、特別の理由があるときは、規則で定めるところにより、手数料を減免することができる。

(規則への委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

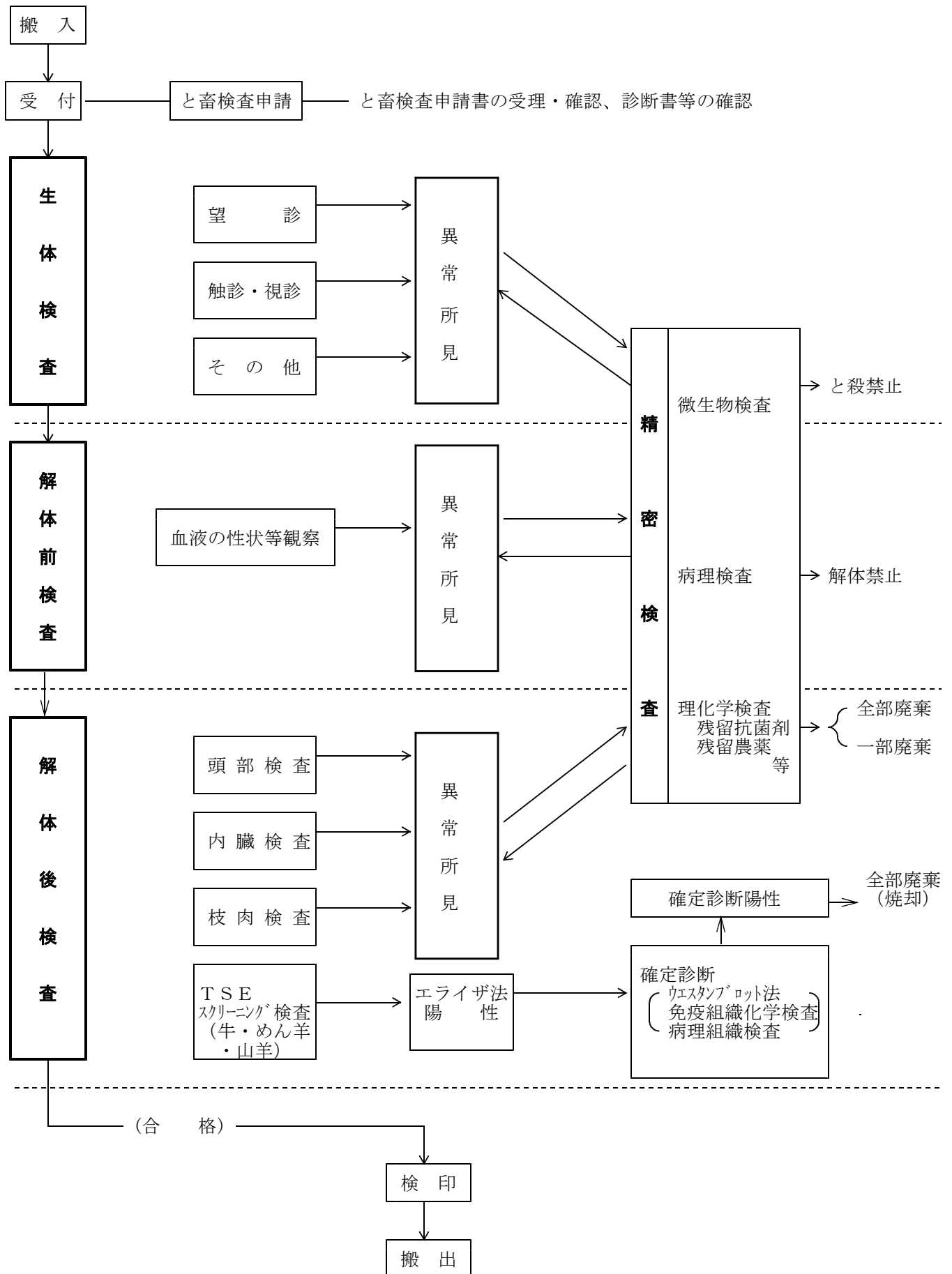
附 則(平成17年条例第100号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区 分	金 額
1 と畜場法(昭和28年法律第114号)第14条第1項から第3項まで(同条第4項において準用する場合を含む。)の規定による検査	
(1) 病畜以外の獣畜	
ア 生後1年未満の牛又は馬	
(ア) 生体50キログラム未満	1件につき 200円
(イ) 生体50キログラム以上	1件につき 450円
イ 生後1年以上の牛又は馬	1件につき 900円
ウ 豚	1件につき 420円
エ めん羊又は山羊	1件につき 200円
(2) 病畜	1件につき 1,300円
2 食肉の規格試験	
(1) 前処理の必要がないもの又は前処理として溶媒に溶解するものその他これに類する程度の前処理を行なうもの	1件につき 3,300円
(2) (1)以外のもの	1件につき 34,100円
3 食肉の一般試験	1成分につき 3,300円
4 証明書の発行	1通につき 420円

5 と畜検査業務フローシート



6 施設の概要

敷地・建物

敷地面積.....1,483.53㎡

建物面積.....633.45㎡

事務室・所長室	92.4㎡	病理組織検査室	50.8㎡
微生物検査室	47.8㎡	理化学検査室	42.4㎡
BSE検査室	61.5㎡	その他	338.5㎡
○会議室	49.7㎡	○車庫	16.1㎡

建物平面図(鉄筋コンクリート平屋建)



配置図(鳥取県食肉センター内)



7 主な検査機械器具

(1) 微生物検査

品名	数量	品名	数量
メディカルフリーザー	1	トランスイルミネーター	1
冷蔵庫	2	電気泳動ゲル撮影装置	1
クリーンベンチ	1	遺伝子増幅装置	1
オート高圧滅菌器	1	微量高速冷却遠心機	1
高圧蒸気滅菌器	1	恒温振とう機	1
ストマッカー	1	アイススライサー	1
恒温振盪水槽	1	実体顕微鏡	1
乾熱滅菌器	2	顕微鏡	1
インキュベーター	1	蛍光顕微鏡	1
電気ふらん機	1	デシケーター	1
電気泳動装置	1		

(2) 病理検査

品名	数量	品名	数量
冷蔵庫	1	顕微鏡	1
小型マイクロトーム	1	ディスクッション顕微鏡	1
マイクロトームホルダーセット	1	電気恒温機	1
マイクロトームクリオスタット	1	パラメディカル撮影装置	1
低温ふらん機	1	赤外線水分計	1
パラフィン包埋装置	1	スマートティッシュプロセッサ	1
インキュベーター	1		

(3) 理化学検査

品名	数量	品名	数量
パラメディカルフリーザー	1	純水製造装置	1
冷蔵庫	1	振とう機	1
PHメーター	1	臨床用ヘマトクリット遠心機	1
ホモジナイザー	2	分光光度計	1
ドラフトチャンバー	1	高速液体クロマトグラフ	1
多項目自動血球計数装置	1	臨床分析装置	1

(4) BSE検査

品名	数量	品名	数量
冷蔵庫	1	マルチビーズショッカー	1
メディカルフリーザー	1	卓上細胞破砕器	1
インキュベーター	1	超音波ホモジナイザー	2
上皿電子天秤	2	マイクロプレートリーダー	1
高圧滅菌器	1	マイクロプレートウォッシャー	1
安全キャビネット	2	アルミブロック恒温槽	1
高速遠心器	1	プレートインキュベーター	1
ロータ	1		

(5) その他

品名	数量	品名	数量
プロジェクター	1	薬品庫	1
カメラ・デジタルカメラ	2		

8 主要行事・職員の研修

開催月	会議名・研修(講習会)名	開催地
4月	平成25年度食品衛生担当者会議	鳥取市
	平成25年度生活環境部連絡会議	鳥取市
5月	(株)鳥取県食肉センター畜魂祭	大山町
	全国食肉衛生検査所協議会病理部会第66回病理研修会	神奈川県
	全国公衆衛生獣医師協議会理事会	東京都
6月	いなばのジビエ推進協議会研修会	当検査所
	平成25年度第1回と畜検査、処理改善委員会	当検査所
	BSE検査見直しに係る有識者会議	鳥取市
7月	平成25年度食品衛生担当職員業務研究発表会	鳥取市
	第47回鳥取県獣医学会	鳥取市
	第56回鳥取県公衆衛生学会	倉吉市
	家畜防疫業務に係るリーダー研修会	倉吉市
	米子南高校生徒実習	当検査所
	フィードバック事業連絡会議	倉吉市
	平成25年度全国食肉衛生検査所長会議及び第49回全国食肉衛生検査所協議会全国大会	岐阜県
	食肉センター作業員衛生講習会	食肉センター
8月	厚生労働科学研究班会議	東京都
	平成25年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者研修会	東京都
	第59回中国地区公衆衛生学会	鳥取市
	倉吉北高校生徒実習	当検査所
9月	平成25年度全国公衆衛生獣医師協議会全国大会	東京都
	平成25年度中国地区食品衛生監視員研究発表会	山口県
	第9回鳥取県・江原道環境衛生学会	
10月	第31回全国食肉衛生検査協議会理化学部会総会及び研修会	千葉県
	第24回全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会	山口県
	平成25年度全国食品衛生監視員研修会	東京都
	第34回日本食品微生物学会学術総会	東京都
	平成25年度第1回養豚懇談会女性の会	倉吉市
	平成25年度獣医学術中国地区学会	鳥取市
	フィードバック事業担当者会議	当検査所
11月	全国食肉衛生検査所協議会病理部会及び第67回病理研修会	神奈川県
	全国食肉衛生検査所協議会微生物部会全国幹事会及び第33回総会・研修会	茨城県
	鳥取大学公衆衛生学実習	当検査所
	フィードバック事業連絡会議	北栄町
12月	平成25年度第2回食品衛生担当者会議	鳥取市
	倉吉農高校生徒実習	当検査所
1月	平成25年度畜産技術業績発表会	鳥取市
	平成25年度食肉衛生技術研修会及び食肉衛生発表会	東京都
2月	平成25年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会	千葉県
	平成25年度厚生労働科学研究班会議	東京都
	平成25年度生活環境部実務担当者研修会	倉吉市
	平成25年度西部家畜保健衛生所家畜衛生推進協議会	米子市
3月	と畜場HACCP実地研修	鹿児島県
	平成25年度第2回養豚懇談会女性の会	倉吉市
	と畜場運営委員会	食肉センター
	第2回と畜検査・処理改善委員会	当検査所

9 と畜場概要

(平成26.3.31現在)

名 称	鳥取県食肉センター	処理能力(日)	大動物：60 小動物：550
設置者	(株)鳥取県食肉センター	と 殺 方 法	大動物：銃撃 小動物：電撃
管理者	(株)鳥取県食肉センター	冷蔵(冷凍)庫	枝肉 牛177頭、豚1,095頭
所在地	西伯郡大山町小竹1291-1	使 用 水	井戸水
許可年月日	昭和58年12月2日	汚物焼却能力	焼却炉 195kg/時
と畜場区分	一般と畜場	汚 水 処 理	1,000t/日 活性汚泥法(三次処理)
と畜場番号	6	血液処理装置	有
敷地面積	48,880㎡	部分肉処理 施 設	有(960㎡)
建物構造面積	鉄筋7,502㎡		